

たぶん 杉沢村

監督 山口淳太

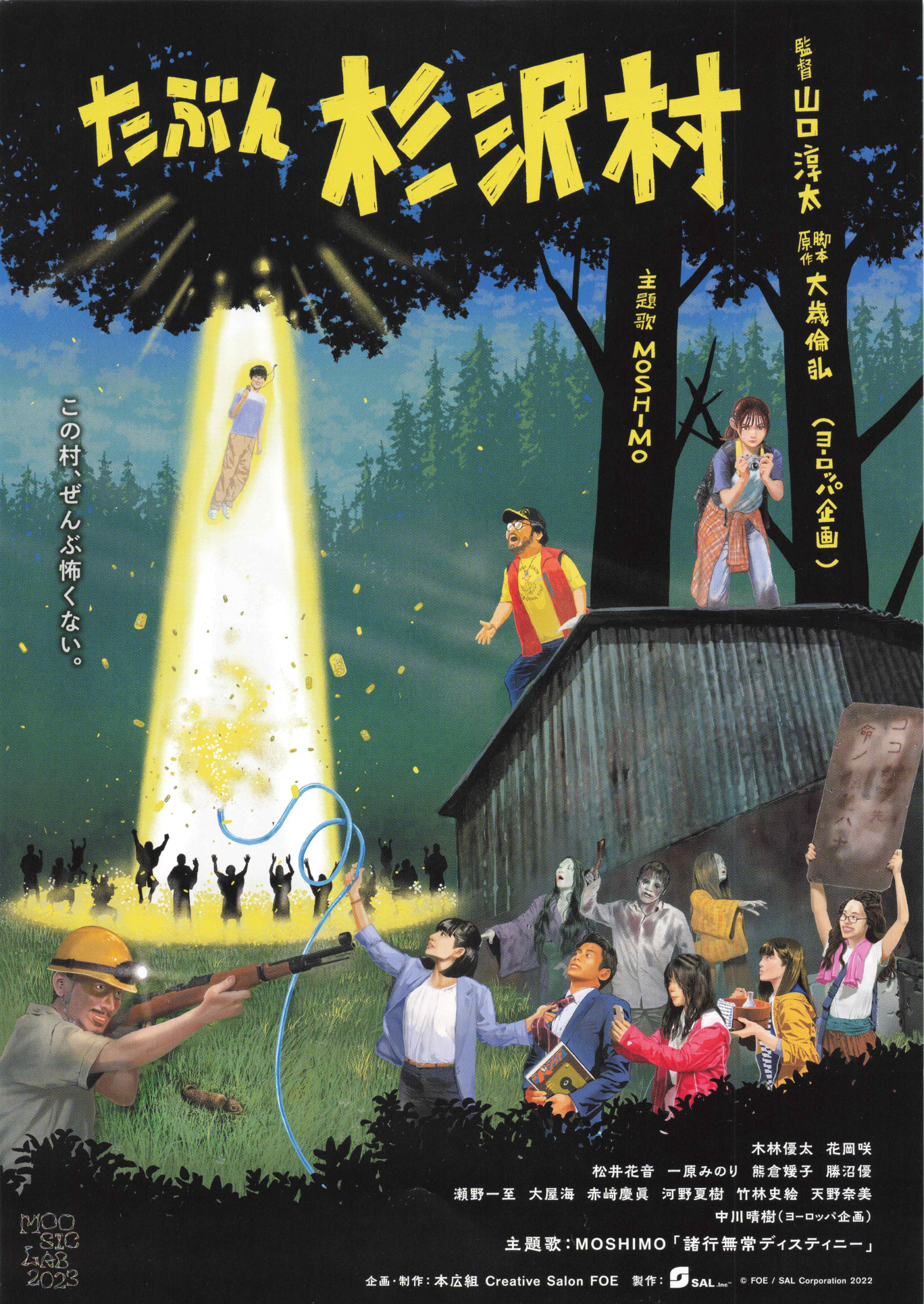
脚本
原作

大歳倫弘

(ヨーロッパ企画)

主題歌
MOSHIMO

この村、ぜんぶ怖くない。



木林優太 花岡咲

松井花音 一原みのり 熊倉嫺子 勝沼優

瀬野一至 大屋海 赤崎慶真 河野夏樹 竹林史絵 天野奈美

中川晴樹(ヨーロッパ企画)

主題歌：MOSHIMO「諸行無常デスティニー」

MOO
SIC
LAB
2023

企画・制作：本広組 Creative Salon FOE 製作：SAL inc. © FOE / SAL Corporation 2022

Introduction

2020年公開の監督作品『ドロステのはてで僕ら』で、第41回ファンタフェストゴールデンバット賞(最優秀賞)や、第25回プチョン国際ファンタスティック映画祭NETPAC賞(最優秀アジア映画作品賞)など20以上の海外の映画賞を受賞した世界的に広く評価される山口淳太監督。そんな彼の最新作『たぶん杉沢村』は、自身が所属するヨーロッパ企画が2015年に舞台上演し「いずれ映像化したい」と考えていた「杉沢村のアポカリプティックサウンド」(作:大歳倫弘<ヨーロッパ企画>)が原作。以前の脚本をベースに大歳氏が新たに書き下ろした、どたばたオカルトコメディ。キャスト・スタッフは、本広克行による本広組 Creative Salon FOEのメンバーを中心に構成。主題歌は、福岡発のロックバンド・MOSHIMOがつとめる。

Story

秘湯巡りに来た会社の同僚、イツキ、アケミ、サトミ、サウムラの4人は、怪しげな看板を見つけたことをきっかけに、謎の廃村に迷い込んでしまう。「ここが「杉沢村」かもしれない!」と息巻くサウムラは3人を置いて独り探索を続けることに。

一方、オカルト雑誌「パンゲア」編集部のアサカとリナは“神降村”のUFOネタを求めて、山を進むうちに廃村に辿り着く。そこで小屋に隠れて怯えているイツキたちと出会う。さらにはツチノコハンターまで現れて…謎の廃村に同時に迷い込んでしまった7人が体験したのはオカルトに溢れた夜。果たしてそこは一体……?!

「この村…ないかどう、バランスは悪いぜ」

【監督プロフィール】

山口淳太(やまぐち・じゅんた)。1987年3月8日生まれ、大阪府出身。2005年に京都を拠点に活動するヨーロッパ企画に参加。以後、映画やドラマ、CM、ドキュメンタリーなど、映像コンテンツの演出・撮影・編集まで全て行うオールインワンタイプのディレクターとして幅広く活躍。'20年、ヨーロッパ企画の映画『ドロステのはてで僕ら』の監督を務め、同作は多数の海外映画祭で賞を受賞し、多くの国で配給もされた。

【脚本家プロフィール】

大歳倫弘(おおとし・ともひろ)。05年、ヨーロッパ企画に参加。以後、作家として、ラジオの構成や、ドラマ・映画の脚本を数多く手がける。また、舞台の脚本・演出も行っており、'09年から「ヨーロッパ企画イエティ」名義で、プロデュース公演を定期的に上演している。

【主題歌アーティスト】

MOSHIMO

日常生活で抱く様々な不安、困難、フラストレーションを全てポジティブへと変える熱いライブパフォーマンス、可愛くもパワフルな歌声、ポップながら骨太なロックサウンドで、若者の心を掴み、巨大な渦となりつつある新進気鋭のギターロックバンド。2022年3月にはZepp DiverCity TOKYOにて2年ぶりとなる「MOSHIFES. 2022」を開催。同年8月にmini album「GENK!!!」をリリース。

プロデューサー: 黒田KC 未来

音楽: 三村昌也

撮影: 有谷光 山口淳太

録音: 茂木祐介

音響効果: 森健一

ヘアメイク: チェ なかじ RIKO

衣裳: 畠山ななみ

VFX: 大見康裕

助監督: 那須一南

撮影助手: ハヤシテツタロウ 太田貴大

照明応援: 八木太郎 福田琢哉

美術応援: 桑山克矢

装飾応援: ヒカリトイズ

制作進行: 沖本美貴

題字・ポスターイラスト: オガツカツオ

ポスターデザイン: TOYPLOT

スチール: 甲斐淳一

エンドロール: 星島健一

ロケーション協力: 株式会社ブラウズ

飯能市役所産業振興課

スペシャルサンクス: KIND 株式会社大島商事

Spatial.Chat やんかわ商店 あざますラボ

主題歌: MOSHIMO「諸行無常ディステニー」

原作: 「杉沢村のアポカリプティックサウンド」

(ヨーロッパ企画イエティ 大歳倫弘)

企画・制作: 本広組 Creative Salon FOE

製作: サル・コーポレーション

© FOE / SAL Corporation 2022

FOE

【本広組 Creative Salon FOE 紹介】

2018年に発足した「本広組オンラインサロン(MOS)」を前身とし、2020年9月に新規開設された映画監督の本広克行が主催するクリエイティブサロン。役者、クリエイター、映画制作に興味を持つ社員や弁護士等、年齢や経歴も様々なメンバー約100名で構成されている。映画技法の勉強会や本読み、映画や芸術鑑賞、監督やメンバーとの繋がり、ショートムービーや長編映画制作の実践を通してプロの現場で活躍できるチャンスに溢れるコミュニティ。



上映に関する情報はこちら ▶

<https://foe.motohiro.com/sugisawa/>



MOOSIC LAB 2023 にて上映!

①K's cinema (東京都新宿区新宿3丁目35-13 3F) ②シモキタ エキマエ シネマ K2

2022年12月19日(月)~2022年12月21日(水) 2023年1月7日(土)・2023年1月18日(水)

Twitter @tabunsugisawa_M

Instagram tabunsugisawa_m